会　議　名	第一回港区高校生世代等のひとりで過ごせる居場所づくり事業開設準備及び運営業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	令和８年３月２３日（月）１３時～１５時
開催場所	港区役所　５階　５１４会議室
委　　員	（出席者） 早稲田大学文学学術院　教授　阿比留　久美 筑波大学大学学術院　教授　安梅　勅江 一般社団法人子ども若者ネットワーク品川　代表理事　中塚　史行 港区子ども家庭支援部長　中島　博子 港区子ども家庭支援部子ども政策課長　西川　杉菜
事　務　局	子ども家庭支援部子ども若者支援課
会議次第	１　開会 ２　委員長・副委員長の選出について ３　選考委員会選考スケジュール（案）について ４　事業候補者募集要項（案）について ５　採点基準表（案）について ＜閉会＞
配付資料	資料１　港区高校生世代等のひとりで過ごせる居場所づくり事業開設準備及び運営業務委託事業候補者選考委員会設置要綱 資料２　港区高校生世代等のひとりで過ごせる居場所づくり事業開設準備及び運営業務委託事業候補者選考委員会委員名簿 資料３　選考委員会選考スケジュール（案） 資料４　港区高校生世代等のひとりで過ごせる居場所づくり事業開設準備及び運営業務委託事業候補者募集要項（案） 別紙１　仕様書（案） 別紙２　港区高校生世代等のひとりで過ごせる居場所づくり事業開設準備及び運営業務委託事業候補者選考基準（案） 別紙３　現地見学会参加申込書 【様式１】質問書 【様式２】参加表明書兼参加資格審査申請書 【様式３】共同事業体構成書 【様式３－２】共同事業体協定書兼委任状 【様式３－３】委任状 【様式４】事業者概要及び業務実績 【様式５】業務従事予定者の経歴及び専任性 【様式６】業務従事予定者の配置計画及びスケジュール 【様式７】企画提案書 【様式８】プロポーザル参加辞退届 【様式９】見積書 資料５　採点基準表（第一次審査）（案） 資料５－２　採点基準表（第二次審査）（案）

会議の結果及び主要な発言	
	１　開会
事務局	事務局より挨拶する。
	（挨拶）
事務局	委嘱状については、本来区長より委嘱すべきところであるが、他の公務のため、机上に配付しているので確認をお願いしたい。 議題に入る前に、委員の皆様から簡単に自己紹介をお願いしたい。
	（自己紹介）
事務局	それでは次第に沿い、議題に移る。
	２　委員長・副委員長の選出について
事務局	当委員会では、「資料１　選考委員会設置要綱」の第５条において「委員長・副委員長」について定めており、委員の中から「委員長」を互選し、委員長は「副委員長」を指名することとしている。 委員長の選出について、意見があればお願いしたい。
Ａ委員	委員長には、これまで港区の事業候補者選考委員会を多く経験している、安梅委員を推薦する。
事務局	ただいま、安梅委員を推薦する意見があった。委員長は安梅委員にお願いするということでよろしいか。
	（異議なし）
事務局	委員長は安梅委員に就任をお願いしたい。これより先の議事進行は安梅委員長にお願いする。
委員長	よろしくお願いしたい。副委員長については、中島委員にお願いしたい。
	３　選考委員会スケジュール（案）について
委員長	「議題３　選考委員会選考スケジュール（案）について」、事務局から説明をお願いしたい。
事務局	（資料説明）
委員長	ただいまの説明について、意見や質問があればお願いしたい。
Ａ委員	第二次審査の所要時間が２時間と記載されているが、足りるだろうか。
事務局	２時間で終えることができると想定している。
委員長	他になければこのスケジュールに基づき、選考を実施していくことにする。次の議題に進む。
	４　事業候補者募集要項（案）について ５　採点基準表（案）について
委員長	「議題４　事業候補者募集要項（案）について」、「議題５　採点基準表（案）について」は、相互に関連する事項であるため、一括して議題とする。 事務局から説明をお願いしたい。
事務局	（資料説明）
委員長	それぞれの資料や事務局からの説明について、意見や質問があればお願いしたい。
Ａ委員	事業者からの応募はあるのだろうか。応募数が０の場合どのように対応するのか質問したい。
事務局	金額かスケジュールに原因があるため再検討する必要がある。選考期間を延長することも可能である。なお、昨年度開催した検討委員会において、傍聴を希望する事業者はあったため、応募数が０になることはないと考えている。
Ａ委員	委託業務に開設準備と運営があるが、資料４に記載されている事業規模 2,700

	万円の内訳はいかがか。 　また、「毎年度事業候補者として推薦する」という表現はあまり良くないのではないだろうか。
事務局	開設準備委託が約 1,200 万円、運営業務委託が約 1,500 万円である。 　また、この表現については、港区のプロポーザルで通常使用するため問題はないだろう。
Ｂ委員	何名程度のスタッフがいることを想定しているのか。仕様書案に記載されている予定業務量を見たところスタッフ数が足りるのか疑問に感じる。
事務局	仕様書案を事業者へ提出し、人数等を見積もっていただいているため問題はないだろう。複数名のスタッフがいなければ何か問題が生じたときに対応できないため、事務局としては最低でも常時３名は配置されていることを想定している。
Ｂ委員	常勤とパートタイムの組み合わせについては、どのように考えているか。
事務局	人員配置については、企画提案書７－２（２）にいて、事業者から提案していただく予定である。その内容に不安があれば、事業者と区で改めて協議する必要があるだろう。
Ｂ委員	事業者には国の政策や法律についても確認する必要があるのではないだろうか。子ども・若者育成支援推進法などについて熟知している必要はないが、少なくとも関心は持っていてもらいたい。
事務局	資料４別紙２、２ページ目の基本理念で、国の指針も踏まえた内容になっているか、という内容を評価項目に追加するのはいかがか。
Ａ委員	この金額でそれほど多くの要求を事業者にするのはいかがだろうか。DBS などについて「加味する」程度の表現であれば良いかもしれない。 　また、様式７－２（２）において、常勤を「週５日以上」の勤務に設定しているが、その必要があるだろうか。例えば「週３０時間以上」に設定すれば子育て中の人の勤務も可能になる。今は人手不足であるため、柔軟性を考慮した方がより良い運営になるだろう。
事務局	「週５日以上」でないと常勤ではないという規定はないため明記せず、この部分は削除することにする。 　DBS については、企画提案書で、配慮しているか、「はい」又は「いいえ」を選択できるようにし、確認するに留めることにする。
Ｃ委員	まず、スタッフは常勤や非常勤の割合はどの程度であるか伺いたい。 　また、資料５の採点基準表について、「資格」というのはどのような資格を重視するのか分かりにくく思う。 　「人材育成」という言葉についても、表現がふんわりしており、採点する側としては評価しづらい。何をもって人材育成をしていると判断すれば良いのだろうか。
事務局	事業者の見積書では、施設長、副施設長に加えて常勤職員４人で、非常勤職員は５人である。 　要件として「資格」を明記しなくても良いかもしれない。
Ｄ委員	経験豊富な職員を配置したいため、資格の明記は必要である。
Ｂ委員	職員配置数は金額的に問題ないだろう。
Ａ委員	ハード面以外の休館日は想定しているのだろうか。
事務局	年末年始以外は開館としているが、施設点検日や消防訓練の臨時休業日は想定している。年間のスケジュールは事業者から提出してもらう予定である。
Ｅ委員	採点基準表の二次審査について、「理解・回答力」ではなく、組織力や柔軟性を審査した方が良いのではないだろうか。
Ｄ委員	３番目の「利用者との関わり方」についても違和感がある。
Ａ委員	５番の「意欲的」も変更していただきたい。
Ｂ委員	危機管理能力など、高校生世代への対応に関する評価基準があって欲しい。スタッフから利用者へ介入しない居場所と、何かあれば介入する居場所、その２つ

	のバランスが見れるような基準があれば良いだろう。
Ｅ委員	居場所づくりの工夫として、利用者への対応力が分かる危機管理は特に重要だろう。
事務局	３番は利用者への対応力に変更する。
Ａ委員	２０点も危機管理に配分するのはいかがだろうか。
事務局	３番を「居場所づくりの工夫」に変更し評価係数を「×５」に、４番を「組織力」に変更し、評価係数を「×５」に、５番を「危機管理」に変更し、評価係数を「×２」に修正する。
Ａ委員	友人など複数人での利用や、途中で顔見知りになるなど、居場所内で交流が生じたときにはどのように対応するイメージであるか伺いたい。
事務局	利用者へは初回利用前にルール説明をする。交流している利用者へスタッフから声がけを行うが、もしそれでもやめないならば利用停止も想定している。
Ｂ委員	仲間づくりなどのニーズが出てきたらどのように対応するのだろうか。
事務局	近くに子ども中高生プラザがあるため、そこを紹介するのが良いだろう。
委員長	その他について、事務局案で良いか。
	（異議なし）
事務局	修正箇所は赤字で記載し、データで改めて資料を皆様へ送付する。
委員長	最後に事務局から連絡事項をお願いしたい。
事務局	（連絡事項）
委員長	以上で、第一回事業候補者選考委員会を終了する。
	＜閉会＞